

平成24年 9 月 4 日 (火曜日)

○出席議員 (16名)

議 長	夷 藤	満 君		8 番	北 川	悦 子 君
1 番	太 田 臣	宣 君		9 番	能 村	憲 治 君
2 番	中 島 利	美 君		10 番	清 水	文 雄 君
3 番	酒 本 昌	博 君		11 番	水 口	裕 子 君
4 番	生 田 勇	人 君		12 番	渡 辺	旺 君
5 番	川 口 正	己 君		13 番	八 田	外 茂 男 君
6 番	藤 井 良	信 君		14 番	中 川	達 君
7 番	恩 道 正	博 君		15 番	南	守 雄 君

○説明のため出席した者

町 長	八 十 出	泰 成 君		総務部 税務課長	若 林	優 治 君
教 育 長	西 尾 雄	次 君		まちづくり政策部 企画財政課長	田 中	徹 君
総務部長	高 木 和	彦 君		まちづくり政策部 情報政策課長 兼公聴広報室長	岩 本 昌	明 君
まちづくり政策部長	中 西 昭	夫 君		町民福祉部 町民生活課長	大 徳	茂 君
町民福祉部長	川 口 克	則 君		町民福祉部 健康推進課長	下 村 利	郎 君
都市整備部長	長 丸 一	平 君		町民福祉部 介護福祉課長	長 谷 川	徹 君
教育委員会教育次長	長 丸 信	也 君		町民福祉部 環境政策課長	中 宮 憲	司 君
消 防 長	津 幡	博 君		都市整備部 産業振興課長	喜 多 哲	司 君
町民福祉部 担当部長	北 雅	夫 君		都市整備部 都市建設課長 兼北部開発対策室長	井 上 慎	一 君
都市整備部 担当部長 兼企業立地推進室長	山 田 吉	弘 君		都市整備部 上下水道課長	長 田	学 君
会計管理者 兼会計課長	重 原 正	君		教育委員会 学校教育課長	北 川 真	由 美 君
総務部 総務課長	島 田 睦	郎 君		教育委員会 生涯学習課長	岩 上 涼	一 君

○職務のため出席した事務局職員

事務局長 向 貴代治 君 事務局書記 田 中 義 勝 君

○議事日程（第1号）

平成24年9月4日 午後1時開議

日程第1

会議録署名議員の指名について

日程第2

会期の決定について

日程第3

諸般の報告について

日程第4

議案第51号 平成24年度内灘町一般会計補正予算（第2号）

議案第52号 平成24年度内灘町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第53号 平成24年度内灘町新エネルギー事業特別会計補正予算（第1号）

議案第54号 平成24年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第55号 平成24年度内灘町介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第56号 内灘町鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例について

議案第57号 内灘町防災会議条例及び内灘町災害対策本部条例の一部を改正する条例について

議案第58号 内灘町火災予防条例の一部を改正する条例について

議案第59号 請負契約の締結について

〔内灘町向栗崎体育館耐震補強・改修工事〕

議案第60号 財産の取得について〔消防ポンプ自動車 1台〕

議案第61号 平成23年度内灘町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

認定第1号 平成23年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について

認定第2号 平成23年度内灘町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第3号 平成23年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号 平成23年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号 平成23年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第6号 平成23年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定第7号 平成23年度内灘町水道事業会計決算認定について

報告第7号 平成23年度決算に基づく内灘町健全化判断比率等について

提案理由の説明



○開会・開議

午後1時00分開会

○議長【夷藤満君】 皆さん、ご苦勞さまで
ございます。

ただいまの出席議員は16名であります。よ

躍によって日本人の心も熱くなった夏でありました。日本選手団は競泳や女子サッカーに代表される団体競技・種目の活躍により、過去最多だったアテネ大会の37個を上回り、38個のメダルを獲得しました。これら日本選手の活躍には大いに興奮し、多くの感動をいただきました。

今大会から全競技で女子種目が実施され、また女子スポーツを制限してきた国が今回女子選手の派遣をしたことで全ての国、地域の女子選手が参加する歴史的な大会となり、女子選手の元気が目立った大会でもありました。特に日本女子柔道57キロ級初の金メダルを獲得した地元、松本薫選手のすばらしい活躍もひとときわ輝いておりました。

4年後のリオデジャネイロオリンピックでは今回以上の女子選手の活躍を期待するとともに、日本の女性がスポーツだけでなく社会のあらゆる分野でますます活躍し、日本をさらに元気にしてほしいと感じました。

東日本大震災発生より初めてとなる町の震災訓練を、災害発生時どうすれば被害を軽減できるか、有事の際はどうか対応するかを重点とし、去る8月26日に清湖小学校の校下及び緑台町会の町民の皆様を対象として実施いたしました。非常に暑い日ではございましたが、震災訓練には400名を超える町民の皆さんにご参加をいただき、各種訓練に取り組んでいただきました。訓練会場では、金沢医科大学病院救命救急科を初めとする各種参加機関の協力のもと、18種類もの訓練が実施されました。

特に今回は初めてとなる津波を想定した高台への避難を含む集団避難訓練、原子力災害時に備えた放射線スクリーニング体験、津波による浸水被害を想定した簡易プールによる水中歩行訓練を実施いたしました。さらに、展示関係では段ボールを使用した避難所体験、東日本大震災の写真展示など、昨年の大震災を教訓とした新たな展示も数多く実施いたし

ました。

一たび昨年の東日本大震災規模の災害が発生したときには、その被害を最小限に抑え、犠牲者ゼロを目指すために自助、共助、公助のどれ一つが欠けてもならず、お互いが連携を図っていかねばならないと認識いたしております。今回の訓練を通し、参加された町民の皆さんがそのことを実感し、体験することを通して防災意識の高揚を一層高めてまいりたいと考えております。

国立大学法人東京大学大学院教育学研究科との3カ年にわたる、公民館を核とした地域づくり共同研究を今年度より開始いたしました。東京大学では平成21年度より高齢社会総合研究機構を立ち上げ、高齢社会の抱える課題を学際的に研究し、その成果を社会に還元する取り組みを始めており、今回のこの取り組みは全国的にも珍しい内灘町独自の地域資源である1町会1公民館制度の機能をさらに高め、現下の社会情勢に適應するシステムの構築に向けた共同研究であります。

今年度初めての共同研究として、去る8月6日より4日間にわたり、牧野東京大学教授と16名のゼミ生が内灘町を訪れ、町の名所、史跡をめぐり、町内社会教育施設を視察し、さらに白帆台地区の小学生との地びき網や海浜植物の観察などを行うふるさと体験会を開催いたしました。この体験会により、内灘町をふるさとの原風景として育つこととなる小学生が、都会からの来訪者である東大生との交流により内灘町の魅力を語り合う場を共有することで郷土愛が育まれる一助にしたいと考え、開催されたものであります。

共同研究は今後、東大研究チームによる17地区全ての公民館の実態の把握と交流によるワークショップを実施する予定であります。それぞれの地域が抱える課題を解決し地域を再生するためには、その地域で暮らす人たちの力を活用し、地域づくりに積極的な参加をしていただくことが大切であります。その中

でも、特に経験と意欲に満ちた団塊の世代のマンパワーをうまく生かすことが重要と考えます。また、人や地域をつなぐコーディネーターとして公民館主事的能力、スキルの向上を図ってまいります。

今後3カ年にわたるこの共同研究成果をもとに、超高齢社会においても公民館を核とした活気のあるコミュニティづくりを目指してまいりたいと思います。

北陸新幹線は、長野ー金沢間が平成26年度末の開業を目指して工事が進められておりますが、去る8月19日には、新たに認可された金沢から敦賀までのおよそ125キロの区間の起工式が行われ、開業への期待がますます高まってきております。本町においても、開業に向け、内灘魅力発信行動計画の4つの柱となる基本方針に沿いながら準備を進めてまいりました。

その第1は、観光資源の開発であります。

金沢駅におり立った観光客が内灘町に向かうように動機づける観光資源としての魅力を備えていくことが必要であります。その一つである恋人の聖地事業では、総合公園内のオブジェ「ダブルハート」や幸せへの鐘が設置されている見晴らし台への恋みくじの設置や放水路沿いでの芝桜やコスモスの植栽を行いました。これらの取り組みに対しては、恋人の聖地内灘が第24回いしかわ広告景観賞において社団法人石川県観光連盟賞を受賞しており、今後も道の駅周辺を中心としたにぎわいの創出に取り組んでまいりたいと考えております。

第2は、交通アクセスの向上を図ることです。

金沢駅からの交通ルート、内灘駅からの町内交通の利便性を図ることが必要であります。喫緊の課題となっております北陸鉄道浅野川線の利便性、魅力度の向上では、土日祝日限定の割安1日フリー乗車券や、町会、グループでの利用に対する助成制度の導入、沿線小

学校の子供たちの絵画の車内展示、サイクルトレインの実施などさまざまな取り組みを始めており、今後はさらに金沢駅から内灘町への観光ルートの情報提供へも取り組んでまいりたいと考えております。

第3は、誘客力の強化であります。

いかに効果的に内灘町の魅力を発信し誘客につなげることができるか、プロモーション力が求められます。内灘海岸を活用した集客力のあるイベントであるビーチベースボール北陸大会in内灘、世界の凧の祭典、内灘町長杯サーフィン大会、環境省による快水浴場百選にも選定されている内灘海水浴場、さらには文学碑等内灘町の歴史、文化をめぐるコースなども改めて県内外に強くアピールしてまいります。

第4は、もてなし力の向上です。

来町した観光客の皆さんを温かく迎え、快い気持ちを持ってもらうためにも、もてなし力を向上する体制を整える必要があります。町職員や観光ボランティアガイド「風案内はまなすさん」への研修やゼミナール等の開催、新幹線金沢駅周辺地域連絡会もてなし力向上部会を構成する商工会、観光協会、町会区長会、女性会との歴史を知る講演会や新幹線開業による影響等に関する勉強会など、地元人間が地元の魅力を再発見し、磨きをかける地元力の向上を図ります。このような方針に基づき、内灘町の持つ既存のすばらしい資源を最大限に生かしながら、首都圏を初め全国に向けて次々と新しい魅力を打ち出していきたいと考えております。

消費税の増税を財源に国の社会保障制度の維持、拡充を図り財政再建につなげていく一体改革の関連法案が可決成立いたしました。民主、自民、公明3党首のトップ会談での最終合意に基づく成立であります。老後の生活の安心を確保し、若い子育て世代を支援するその財源は、将来世代への負担先送りをできるだけ避けようという改革であります。しか

し、改革の中身はまだ不十分であり、消費税率は平成26年4月に8%、平成27年10月に10%となり、平成9年に現行の5%に引き上げて以来の大型増税となります。国民に求める重い負担増に見合うさらなる改革を進めるよう、政府、国会に求めていると考えています。

次に、町財政状況についてであります。

平成23年度決算が出そろい、各会計の決算認定を今議会に付しているところであります。地方公共団体の財政状況を客観的にあらし、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための健全化判断比率については、実質赤字比率及び連結赤字比率につきましては収支赤字が生じておらず、かつ実質公債費比率及び将来負担比率につきましても早期健全化基準を大きく下回っており、健全化判断比率では健全財政であると言えます。

しかしながら、財政運営については基金からの繰り入れに頼っているところであり、今後も引き続き行財政改革を推進し、行政経営の効率化をさらに進めていかねばなりません。

本町の行財政改革の目的は、町民生活を守り、内灘町の将来展望を切り開いていくことです。地方分権の流れと国、地方を通じた財政再建の中で、まずは基礎自治体として必要なサービスを持続しながら、次の世代が新たな課題に対応できるような財政構造を築かなければなりません。

そして、都市間競争の激化という環境にあって町民の皆様が内灘に住んでよかったと実感でき、他市町からも住みたいと思われるような住みよく活力のあるまちを実現していくためには、現状の町のシステムやサービスをさらに徹底して見直し、守るべき施策は残しつつ、財源や人材という資源を最大限有効に活用していかねばなりません。

このための体質改善、体力づくりが今必要であり、今後も町民の皆様のご理解とご協力を心からお願いするものであります。

それでは、ただいまから提出議案に対する説明を申し上げます。

議案第51号 平成24年度内灘町一般会計補正予算（第2号）につきましては、歳入歳出それぞれ1億7,225万5,000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ80億6,748万4,000円とするほか、地方債の追加及び変更をあわせて計上するものであります。

補正の主な事業としましては、総務費関係では、防災対策費として、原子力災害による大気中への放射性ヨウ素放出による内部被曝に備え、40歳未満の町民約1万2,000人分の安定ヨウ素剤及び必要器具類の購入費、防災行政無線デジタル化移行のため実施設計業務委託費、定住促進奨励金及びお祝い金の制度の延長及び改定に伴う奨励金の必要額を計上しました。

民生費関係では、白帆台地区の保育需要の増加に対応するための白帆台保育園の増築に対する補助事業費及び向陽台保育園の老朽化に伴う大規模改修に対する補助事業費を計上いたしました。

衛生費関係では、不活化ポリオワクチン導入による予防接種委託費等の増額費用を計上いたしました。

農林水産業費では、青年の就農前研修期間及び就農直後の所得を確保するための給付金を給付する青年就農給付金事業、及び鳥獣被害防止特別措置法により鳥獣被害防止のため非常勤職員に対する報酬を計上いたしました。

土木費関係では、社会資本整備総合交付金及び道整備交付金の確定に伴い、町道路新設改良工事費、総合公園サッカー場整備の実施設計業務委託費、野球場スタンド等の改修費及び高圧受電設備工事費を計上いたしました。

教育費関係では、通学バス運行委託費、大根布小学校トイレ改修設計業務委託費、向栗崎小学校受電設備改修工事費、学校給食共同調理場修繕費を計上いたしました。

地方債の補正につきましては、総合公園整

備事業、防災行政無線デジタル化整備事業の追加及び保育所施設整備事業、道路新設改良事業、公園整備事業並びに臨時財政対策債の限度額の変更措置を講ずるものであります。

歳入につきましては、普通交付税の確定に伴う地方交付税の補正及び町税増収並びに地方特例交付金の確定による補正のほか、介護保険繰入金、前年度繰越金を見込むものであります。

議案第52号 平成24年度内灘町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、平成23年度分の決算の確定に伴う所要の補正。歳出では、大根布ポンプ場雨水施設修繕費、浄化センター修繕費に係る補正であります。

議案第53号 平成24年度内灘町新エネルギー事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、風力発電施設火災保険料に係る所要の補正であります。

議案第54号 平成24年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）につきましては、退職被保険者等療養費、後期高齢者支援金等を増額補正し、地方債の補正につきましては、国民健康保険事業の限度額の変更措置を講ずるものであります。

議案第55号 平成24年度内灘町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、平成23年度分の介護給付費等事業費確定に伴う精算に係る所要の補正であります。

議案第56号 内灘町鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定につきましては、国の関係法令に基づき、鳥獣による農林水産業等の被害防止のため、新たな実施隊の設置に係る条例の制定であります。

議案第57号 内灘町防災会議条例及び内灘町災害対策本部条例の一部を改正する条例につきましては、災害対策基本法の一部改正に伴う町防災会議の所掌事務の見直し、委員任期の設定及び引用条項の整備など、所要の改正であります。

議案第58号 内灘町火災予防条例の一部を改正する条例につきましては、国の関係省令の一部改正に伴い、電気自動車用の急速充電設備について対象火気設備等に追加する改正であります。

議案第59号 請負契約の締結につきましては、内灘町向栗崎体育館耐震補強・改修工事に係る制限付き一般競争入札の結果、落札者となった企業と工事請負契約を締結するため、議会の議決を求めるものであります。

議案第60号 財産の取得につきましては、消防ポンプ自動車1台の購入に係る指名競争入札の結果、落札者となった企業と物品購入契約を締結するため、議会の議決を求めるものであります。

議案第61号 平成23年度内灘町水道事業会計未処分利益剰余金の処分につきましては、地方公営企業法の一部改正に伴い、事業年度における未処分利益剰余金の処分について議会の議決を求めるものであります。

次に、**認定第1号**から**認定第7号**までの7件の認定につきましては、平成23年度内灘町一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定に関する案件でありまして、それぞれ監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものであります。

報告第7号 平成23年度決算に基づく内灘町健全化判断比率等につきましては、内灘町健全化判断比率及び資金不足比率を算定したので、監査委員の意見をつけて報告するものであります。

以上が今回提案いたしました議案の提案理由並びにその概要であります。何とぞ慎重にご審議をいただき、適切なるご決議を賜りますようお願いを申し上げます、私の説明を終わります。

ありがとうございました。

○議長【夷藤満君】 提案理由の説明は終わりました。



○散 会

○議長【夷藤満君】 以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。議案調査のため、明5日は休会にいたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長【夷藤満君】 ご異議なしと認めます。よって、明5日は休会とすることに決定いたしました。

次回の本会議は6日午前10時から開き、提出議案に対する質疑、決算特別委員会の設置及び委員の選任並びに町政に対する一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

ご苦労さまでした。

午後1時29分散会